

- 問1 2001年から2018年にかけての北海道の酪農に関する統計では、飼育戸数が9640戸から6140戸へと大幅に減少する一方で、生乳生産量は3640.7千tから3965.2千tへと増加しています。また、100頭以上の牛を飼育する戸数や搾乳ロボットの導入数も大きく伸びています。このような北海道の酪農で見られる変化の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 乳製品の需要低下に合わせ、手作業を中心とした小規模な家族経営への転換が進んでいる。 | 2. 労働力不足を補うために、経営規模の拡大や搾乳ロボットの導入による機械化が進んでいる。 | 3. 飼育戸数の減少に比例して全体の生産量も減少し、酪農から畑作への転換が進んでいる。 | 4. 環境保護の観点から機械の使用を制限し、1戸あたりの飼育頭数を減らす取り組みが進んでいる。 |
|--|---|---|---|
- 問2 北海道の北東に位置する国後島などの北方領土をめぐる、日本政府の立場や現状についての説明として正しいものはどれか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 日露親条約においてロシア領と決められたが、日本は歴史的な経緯から返還を求めている。 | 2. サンフランシスコ平和条約において日本が放棄した千島列島の一部であり、現在は国際連合の管理下にある。 | 3. 日本固有の領土であるが、第二次世界大戦終結直後から現在までロシアによって法的根拠なく占拠されている。 | 4. 北海道の根室半島から最も遠い位置にあるため、現在はロシアとの間で共同統治を行うことで合意している。 |
|--|--|---|--|
- 問3 北海道のオホーツク海沿岸で見られる流氷と、その地域への影響について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 太平洋側から北上してくる大規模な氷山で、冬の間の船舶の往来をすべて止めている。 | 2. 暖流の影響で海水が蒸発して氷になったもので、夏の冷害を引き起こす原因となっている。 | 3. シベリア沿岸で生まれた氷が南下してくるもので、冬の重要な観光資源として活用されている。 | 4. 日本海の雪が海に流れ出て固まったもので、主に水田の灌漑用水として利用されている。 |
|--|--|--|---|
- 問4 北海道の中央南部に位置し、石狩低地帯の東側から南の襟裳岬方面へと南北に連なる険しい山脈の名称として、最も適切なものを選びなさい。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 奥羽山脈 | 2. 日高山脈 | 3. 飛騨山脈 | 4. 赤石山脈 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問5 2018年の統計において、畑作の農家一戸あたりの耕地面積を比較すると、全国平均が5万平方メートル未満であるのに対し、北海道は約20万から25万平方メートルという圧倒的に高い数値を示しています。このような広大な土地で効率よく耕作を行うために、北海道の農業で一般的に取り入れられている手法として最も適切なものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|--|--|
| 1. 豊富な労働力を一箇所に集中させ、手作業によるきめ細かな管理を行う手法 | 2. 大型の機械を導入し、少ない人数でも広範囲の作業を短時間でこなす手法 | 3. 土地を細かく区画分けし、多種類の作物を少量ずつ組み合わせる栽培する手法 | 4. ビニールハウスなどの施設を大規模に建設し、一年中同じ作物を育てる温室栽培の手法 |
|---------------------------------------|--------------------------------------|--|--|
- 問6 日本の農業統計において、北海道は他地域と比較して耕地面積に占める牧草地の割合が非常に高いという特徴があります。このような広大な土地を利用した酪農で生産される生乳の利用状況について、正しい説明はどれですか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 生産された生乳は、九州地方などの遠方の乳製品工場へ生乳のまま輸送されることが一般的である。 | 2. 生産された生乳のほとんどが、鮮度を保持したまま大都市圏へ飲用として出荷されている。 | 3. 生産された生乳は、果樹園の肥料や家畜の飼料としてその大半が地域内で消費されている。 | 4. 生産された生乳の8割以上が、バターやチーズなどの加工用として利用されている。 |
|--|--|--|---|
- 問7 北海道の石狩平野では、かつて稲作に適さない水分を多く含んだ泥炭地が広がっていました。この土地を農地に変えるために、他の場所から性質の異なる土を運び入れ、もとの土と混ぜ合わせて土壌を改良する方法が行われました。この技術の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 輪作 | 2. 干拓 | 3. 開拓 | 4. 客土 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問8 東京都から各道県への旅客輸送に関する統計において、ある道県は鉄道の利用者が約19万人であるのに対し、航空機の利用者が約627万人と突出して多くなっています。この統計が示す道県の名称と、航空機の利用割合が極めて高い理由の組み合わせとして最も適切なものを次から選びなさい。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 道県名は新潟県であり、山岳地帯を通過する鉄道よりも、直線的に移動できる航空機の方が効率が良いから。 | 2. 道県名は北海道であり、青函トンネルが貨物専用となっており、旅客が鉄道で海を渡ることができないから。 | 3. 道県名は北海道であり、東京都からの移動距離が長いので、所要時間の短い航空機が優先的に選択されているから。 | 4. 道県名は大阪府であり、ビジネス客の利便性を高めるために航空路線の便数が鉄道の運行本数を上回っているから |
|--|--|---|--|
- 問9 北海道の釧路市周辺では、夏の時期に「海霧」と呼ばれる濃霧が発生し、日照時間が短くなるという気候上の特徴が見られます。このような現象が起こる背景として、地形や海流の影響を説明したものととして最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 南東からの湿った季節風が、寒流である千島海流（親潮）の上を通る際に冷やされるため。 | 2. 北西からの乾燥した季節風が、暖流である日本海流（黒潮）の影響で湿気を帯びるため。 | 3. 熱帯低気圧から変わった温帯低気圧が、太平洋沿岸の暖流によって勢力を強めるため。 | 4. オホーツク海高気圧から吹き出す冷涼な風が、大雪山系を越える際に上昇気流を作るため。 |
|--|---|--|--|
- 問10 北海道の農業について、生産統計で全国の約78%のシェアを占める「じゃがいも」と、約79%を占める「てんさい」の共通する特徴として最も適切な説明はどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------|----------------------|--------------------------|
| 1. 成長に大量の高温多湿な環境を必要とする作物である | 2. 寒冷な気候での栽培に適した作物である | 3. 亜熱帯の温暖な気候を好む作物である | 4. 水はけの悪い湿地での栽培に適した作物である |
|-----------------------------|-----------------------|----------------------|--------------------------|
- 問11 北海道の石狩平野などでは、かつて枯れた植物が十分に分解されずに積み重なった、水分が多く農業に不向きな「泥炭地」が広がっていました。この土地で稲作などを可能にするため、他の場所から質の異なる土を運び入れて土壌の性質を改善する土地改良の手法を何といいますか。 (2022年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 客土 | 2. 輪作 | 3. 干拓 | 4. 段々畑の造成 |
|-------|-------|-------|-----------|